

大歩危リバーフェスティバル2021  
(ワールドマスターズゲームズ2021関西オープン競技プレ大会)  
競技規則

(1) チームの構成

- 1) チームの構成人数は4～8名とする。
- 2) チーム内に最低1名リバーガイドを含めること。もしくは、競技コースを安全に航行する技能がある者を含めること。なお、大会主催者が安全な航行ができないと判断した場合には競技への参加が制限されることもある。
- 3) 参加チームの選手名簿にある人員の交替は届出なく変更することが可能である。
- 4) 各チームには、チームの代表権を有するキャプテンを1名置き、大会期間中の連絡事項をチーム員に連絡し、スムーズな運営に協力する。

(2) 参加資格

- 1) 各チームの構成者は、競技コースを安全に航行する技能がある者であること。各チームのキャプテンがその責任に於いて、これを認めたものに限る。なお、大会主催者が安全な航行ができないと判断した場合には競技への参加が制限されることもある。
- 2) 参加者は大会期間中、体調管理に努め万全のコンディションをもって競技に参加すること。体調不良などで参加が厳しい場合は、大会主催者側から競技への参加が制限されることもある。

(3) 大会期間中の事故等の責任

- 1) 参加者は、大会期間中の行動を自身の責任で行い、主催者やチームキャプテンにその責任を問わない。
- 2) 参加者は自身の責任で参加すること。イベントスポンサー、主催者、レースオフィシャルのいずれも、競技中に発生した事故や損害について責任を負わない。イベントスタッフおよび競技者を含むすべての参加者は、事故や損害のリスクを最小限にするために、常に安全を意識して行動する義務がある。

(4) 競技に使用する機材についての規定

すべての競技者は、自分の個人的な安全装備を用意しなければならない。この装

備は、イベント期間中、水の上にいる間は常に使用しなければならない。個人用安全装備は、材料の品質を保証し、業界標準を満たしている公認の製造業者のものでなければならない。製造業者が推奨または承認していない方法で、装備の構造、形状、構成を変更してはならない。

#### 1) ラフトボート

A) 使用ボートの大きさは全長 4m以上、全幅 1.8m以上とする。

参考：スーパーピューマ[AIRE] 長さ：399cm、幅：1.73cm

コロラド[gumotex] 長さ：450cm、幅：160cm

B) 板、ポール等を装着し、全長、全幅を故意に変更することは認められない。

C) 足や体を固定する目的でのロープ、紐の設置は認められない。

D) カメラ設置を目的としたポールの取り付けは、安全面に関して自己責任で使用を認めるものとする。

E) ボートは各チームの持ち込みとする。

#### 2) スローバッグの所持

A) 出場チームは、1本以上のスローバッグを所持しなければならない。スタート時にスローバッグを所持していない場合のスタートは認められない。

#### 3) ライフジャケット・ヘルメット・パドルの基準

A) ホワイトウォーター用に設計されたライフジャケットが望ましい。劣化が激しく浮力がないと判断されたライフジャケットは使用できない。ライフジャケットを正しく着用していないチームは出場できない。

B) ホワイトウォーター用に設計されたヘルメットが望ましい。ヘルメットを着用していないチームは出場できない。

C) Tグリップのあるラフティング用パドルが望ましい。予備パドルの積載は認められる。

#### 4) 自然の川を利用した競技場では、すべての種目において、少なくとも1人のチームメンバーが、以下の最低限のチーム安全装備を携行することが義務付けられている。

A) フリップライン

B) スローバッグ

C) リバーナイフ。リバーナイフは片手で操作できるようにする。

D) ホイッスル。水に濡れた場合でも音が出るもの。

#### 5) 主催者はイベントに登録した競技者が、セルフレスキューの能力を持っていることの

証明を要求することができる。競技者及びチームは、以下の最低限のセルフレスキューの知識と実演技術を持っていないといけない。

- A) フリップしたラフトを人の手を借りずに素早く適正な状態にすること。
- B) 介助なしでラフトに乗り込むこと。
- C) ホワイトウォーターでの適切な泳ぎ方（ホワイトウォーター フローティング ポジション、オフエンシブスイム）。
- D) スローバッグの適切な使用（投げ方、受け取り方）。
- E) ラフトレースに伴うすべてのリスクの認識と理解。

6) 競技者は、岸辺や水上で安全に行動する責任がある。各競技者は、自分自身の安全だけでなく、チームや他のイベント参加者の安全を意識して、安全に行動することが求められる。競技者は、自分の個人的な装備、ラフトボート内の姿勢、ラフトボート内の安全を維持することが求められる。例えば、鋭利なエッジ、緩んだロープ、ループ、開いたカラビナなど、周囲の潜在的な危険性を排除することが求められる。

7) レスキュースタッフは、安全要件を満たすために、競技者の個人装備、ラフト内の姿勢、セットアップの調整を要求する権利があります。レスキュースタッフの指示や要求に従わなかった場合、罰則や競技・イベントから失格になることがある。

8) レースディレクターおよびセーフティーディレクターは、安全性向上のために必要と考えられる場合、上記の規則を変更する権利を有する。そのような変更は事前に発表されなければならない。

#### (5) 競技中の写真、ビデオ撮影

1) 大会期間中を撮影した写真、ビデオ等には、参加者個人の意思の確認なく使用することを固く禁じ、個人的記録以外の目的に使用する際は、主催者の許可を必要とする。ただし、主催者の認める個人または報道機関についてはその限りではない。

2) 主催者が撮影する大会期間中の写真、ビデオ等を主催者が大会の目的に使用する場合に限り参加者はその肖像権を放棄する。

#### (6) その他

### 【競技要領】

競技の内容については水量、ボート数等によって変更する可能性がある。

(1) クロスレース

出場チーム全て同カテゴリーとして行う。スタート方法は複数ボートによる同時スタートを予定。スタートラインを設置し、出場チームはラインの上流側で待機する。フライングはペナルティを課す。設置された対象物（ブイ、ゲート等）を回る、または触る。ゴールはゴールラインをボートの一部が通過した時とする。

(2) ダウンリバーレース

スタート方法は複数ボートによる同時スタートを予定。水量などのコンディションによって大会主催者が決定し、レース当日のキャプテンミーティングで発表する。スタートラインを設置し、出場チームはラインの上流側で待機する。フライングはペナルティを課す。指定する場所へ着岸したボートからゴールとする。

(3) 綱引き

ボート 2 艇をロープで繋ぎ、着岸させた状態からスタート。競技時間は 30 秒。組み合わせ、競技時間は出場ボート数等により変更する可能性がある。

(4) 静水スラローム

2 本 1 採用。ゲートの不通過、接触はペナルティを課す。

(5) 失格

大会期間中、大会の主旨に著しく反する行為が認められた場合は大会主催者の判断で失格とする。

(6) 水位規定

各種目の競技コースは安全に進行することを考慮し、それぞれ次のように規定する。水位については目安とするが、天候の予測や水位など総合的に判断し、セーフティーディレクター、レースディレクター、大会主催者が協議し最終決定する。その場合には下記の内容から変更する場合もある。

1) 豊永：～0.8m

- クロスレース WEST-WEST 前
- ダウンリバー WEST-WEST 前～白川口・大滝前
- 綱引き 池田湖
- 静水スラローム 池田湖

2) パターン① 豊永：0.81～1.7m

- クロスレース 豊永～岩原（下りながら実施する）
- ダウンリバー 岩原～下名（ボートピックアップは WEST-WEST）
- 綱引き 池田湖
- 静水スラローム 池田湖

パターン② 豊永：0.81～1.7m

- クロスレース 岩原～下名（下りながら実施する）
- ダウンリバー 下名～まんなか or WEST（ボートピックアップは WEST-WEST）
- 綱引き 池田湖
- 静水スラローム 池田湖

3) 豊永：1.71m～

- クロスレース 池田湖
- ダウンリバー 川口～池田湖（ゴール地点は水量等を考慮し策定）
- 綱引き 池田湖
- 静水スラローム 池田湖

各コースでの実施上限水量に関しては、選手ならびにスタッフの安全面を考慮し、実施が困難であると判断される場合はその競技は中止とする。

(7) その他